



10大NEWS

昨年もたくさんの出来事がありました。広報メンバーが選んだ
2025年の笠間市10大ニュース+αと一緒に振り返りましょう!

01

「笠間市合併20周年イヤー」 盛り上がる

令和8年3月19日に笠間市が合併20周年を迎えるにあたり、今年度は「お祝いイヤー」としてさまざまな記念事業を行いました!

笠間高校による記念ロゴ制作にはじまり、7月には「茨城野音2025」、11月には「忠臣蔵サミットin笠間」と「行こう!カサマライブラリーパーク」を記念イベントとして開催。陶炎祭など各イベントでも「お祝い企画」を行い、市民の皆さんをはじめ、広い交流を交えながら20周年をお祝いしました。



03



「大日堂」国登録有形文化財に

市出身日本画家・木村 武山により建立された「大日堂」が、国登録有形文化財（建造物）に登録されました。貴重な文化財建造物として保存するとともに、積極的な公開活用を行っていきます。

また、今年は「木村 武山生誕150年」の節目として記念事業を行います。ぜひご参加ください。

05

市内陶芸家が活躍

井上 英基さんが「第118回日本美術展覧会」の第4科工芸美術で県内初となる2度目の特選受賞。柳橋 修二さんが「18回国際藝術大賞展」で文部科学大臣賞を受賞しました。



02



佐藤選手(右)が母校の友部小での講演会後に児童と競争する様子

市出身スポーツ選手が活躍

ゴルフでは、金澤 志奈選手が「ソニー日本女子プロゴルフ選手権大会」でJLPGAツアーチャンピオン。畠岡 奈紗選手は「全米女子プロゴルフ協会公式戦『TOTO ジャパンクラシック』」で優勝!

陸上では、ミズノ所属の佐藤 風雅選手が「東京2025世界陸上」の400mと4×400mリレーに出場し、大舞台に挑みました。また、佐藤選手は先月12月17日、友部小学校で講演会を行い、夢を持つことの豊かさを児童に語りました。

04

笠間の栗、大注目!

昨年も「笠間の栗」が全国的な注目を集めました!

「全国モンブラン大会2025」で笠間市代表「株式会社和栗や」が優勝!

栗やモンブランを求めるお客様で「かさま新栗まつり」や道の駅かさま、市内菓子店がにぎわいました。そして、(一財)笠間市農業公社が県内で初めて栗の「有機JAS認証」を取得しました!



07



「アベベ・ビキラロード」誕生

「笠間市合併 20周年」と「アベベ・ビキラメモリアルハーフマラソン大会」20回開催を記念し、コースの一部を「アベベ・ビキラロード」と命名しました。

笠間市とエチオピアを結ぶ友情の道を通じて、今後も地域に根ざしたさまざまな交流を展開していきます。

09



デザインセレクションで 「あたご天狗の森のリノベーション」が大賞

茨城県主催「いばらきデザインセレクション 2025」で、最も優れている作品として「あたご天狗の森のリノベーション」が大賞を受賞しました!

また、市内から「福王しいたけ『仁久郎』」「R + KASAMA」も「選定」に選ばれ、県内外から注目を集めました。

番外編

- 「笠間市外国人材支援センター」県内ではじめて運用開始
- スポーツ庁「スポーツ・健康まちづくり長官表彰(スポまち長官表彰)」を5年連続受賞
- 遠軽町・綾部市・田辺市・新宿区と「合気道開祖 植芝 盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書」を締結
- 子どもたちが活躍
笠間中・稻田中野球部合同チーム県大会優勝、
スナックゴルフ・相撲全国大会、
笠間高校が「写真甲子園2025」で優秀賞ほか
- JR友部駅開業130周年、横断幕や駅周辺の清掃でお祝い
- 大阪・関西万博で「笠間焼」「笠間の栗」PR動画が放映される
- 笠間市役所陸上部が県民駅伝で初優勝

06



内藤 武志さんをかさま応援大使に委嘱

株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド菓子・製パン名誉総料理長の内藤 武志さんをかさま応援大使に委嘱しました。笠間栗ファクトリー(株)製造の「笠間の栗ペースト」を継続的に採用いただいているご縁による委嘱で、「第19回かさま新栗まつり」では内藤シェフのオリジナル栗スイーツが販売されました。

08



戦後 80 年を迎え、 笠間市戦没者追悼式と資料展を開催

1945年8月15日の終戦から80年の節目となりました。

戦争を実体験として知る方が少なくなるなか、戦争の悲惨な記憶を風化させることなく、後世に平和の尊さを語り継ぐため、市でも追悼式や資料展「戦後 80 年～つなぐ想い～」、子どもたちに向けた平和学習などが行われました。

10



笠間稲荷神社本殿を改修、 奉納ライブも開催

今回の本殿保存修理工事では、江戸時代に遡るとみられる本瓦形銅板葺を解体し、本殿屋根が全面的に修繕されました。

9月には「笠間稲荷神社 本殿改修記念奉納ライブ」も開催され、雅楽とクラシックを組み合わせた演奏のほか、ラップやバンド演奏などが行われ、音楽シーンで活躍するアーティストによる、またとないライブとなりました。

問 秘書課(内線 225)